

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2024年 4月 18日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスるる

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|----|------------------------------------------------------------|------|-----|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 56% | 44% | 怪我や危険のないよう環境を設定したり声掛けを行っている。 | 身体を動かしたいお子さん、ゆったりと過ごしたいお子さんが混在する中でどちらも落ち着いて過ごすことのできるようより工夫していきたい。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 89% | 11% | 2対1以上の配置を心掛けている。 | お子さん各々のしたい遊びを確実にかなえるには少し手薄な時がある。その為、職員の増員やお子さん同士の交流を深めていけるよう工夫していく。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 78% | 22% | 安全面を確保するために体格に応じて必要な際は安全の確保が出来る体制を取っている。 | トイレ段差が気になる為、段差を設置するなど行っていく。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 100% | 0% | 行っている。 | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 100% | 0% | しっかりと職員間で共有している。 | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 100% | 0% | 毎年行っている。 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 0% | 0% | | 今後行っていきたい。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 89% | 11% | お子さんの着ていない時間を利用し行っている。 | パートの出勤時間や日数により偏りがある為、機会を増やしていく。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | 0% | 児発管・現場の常勤などしっかりと共有し行っている。 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 100% | 0% | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 67% | 33% | お子さんが楽しむ子おTが出来、将来に役立つ活動を考えている。 | 偏りがみられるため、協力し出来るよう声掛けしていく。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 100% | 0% | 様々な活動を取り入れている。 | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 100% | 0% | 活動時間も変わる為、出来ることが変わってくる。そこを上手く利用し活動を提供している。 | 更に楽しく学ぶことができる活動を考案し提供していきたい。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | 0% | 作成している。 | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 89% | 11% | 確認する時間を設けている。 | お子さんが来所している時間に出勤されるパートもいるためなかなか共有できないときもある。その為、一目でわかる連絡ノートなどを職員間で作成していこうと検討している。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 100% | 0% | 始業後や次の日にしっかりと振り返りを行っている。 | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 100% | 0% | 欠かさず記録を取っている。 | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 100% | 0% | 児発管・現場の常勤などしっかりと共有し判断している。 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | 100% | 0% | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|-----------------------------------------------------------------------|------|-----|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 100% | 0% | 児発管・現場保育士で参加できるような体制を取っている。 | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 78% | 22% | 学校へのお迎え時などを利用ししっかりと行っている。 | 送迎の時間の学校・保護者・事業所の相違があった際も、職員間で迅速に連絡を取り合いお子さんに不安のないよう行動している。しっかりと継続していく。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 0% | 0% | 医療的ケア児は現在いない。 | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 78% | 22% | あまり関わる機会がないが、入学時など支援担当の先生と出来る限り関わり共有することを心掛けている。 | 学校での様子や困りごとをしっかりと把握していきたいため、より支援担当の先生との関係性を密にしていける努力を行ってきたい。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 100% | 0% | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 67% | 33% | | 関わる機会があまりない為、機会を作っていく。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 89% | 11% | 地域の公園が外出などの機会を利用し関わる機会を作っている。 | その際に、初対面の人とかかわる経験をしっかりと身につけえもらえるよう職員が仲立ちとなり交流を深めていく。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 78% | 22% | 池田の会には参加している。 | 常勤のみになってしまうので、情報共有をしっかりと行ってきたい。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 100% | 0% | しっかりと送迎時など話す機会を持っている。 | |
| 保護者への説明責任等 | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 0% | 0% | 実施者がいない。 | 資格を取っていける体制を取りたい。 |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 100% | 0% | 契約時に行っている。 | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 100% | 0% | 保護者の方の話しやすい職員が対応するなど都度考えている。 | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 67% | 33% | 2周年の保護者内や夏祭りなど集まる機会を作っている。 | より機会を増やし、保護者の方の情報交換の場を作っていきたい。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 100% | 0% | 迅速に対応できるよう体制を取っている。 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 100% | 0% | 毎月次月の予定表の配布や、個人の写真やコメントを配布し様子を共有している。 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 100% | 0% | 施錠し管理している。 | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 100% | 0% | 研修などで職員の学びの場を作り配慮できるよう努めている。 | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 100% | 0% | 大学生や、池田のボランティアの方にお越しいただくなど交流の機会をたくさん作っている。 | |

| | | | | | | |
|---------|----|--------------------------------------------------------------------------------|------|-----|-----------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 100% | 0% | 周知できるようにしている。 | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 100% | 0% | 行っている。 | もっと回数を増やし行ってきたい。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 100% | 0% | しっかりと行っている。 | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 100% | 0% | している。 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 100% | 0% | 細心の注意をはらい行っている。 | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 78% | 22% | しっかりと記入している。 | その都度書くことが時間的に取れず、後日の記入になってしまい内容が不明瞭になる時がある為、すぐに記入できる位置に用紙を設置するなど考えていきたい。 |